

平成 21 年 4 月 29 日現在

研究種目：基盤研究 (C)

研究期間：2006～2009

課題番号：18530276

研究課題名 (和文) 公的標準の追求と競争優位の確立に関する実証研究

研究課題名 (英文) A Study on the Relation between de jure Standard and Competitive Advantage

研究代表者

内田康郎 (UCHIDA YASURO)

富山大学・経済学部・教授

研究者番号：90303205

研究分野：経営戦略

科研費の分科・細目：経営学・経営学

キーワード：競争戦略、国際標準、デファクト標準

## 1. 研究計画の概要

本研究は、民間企業が公的標準で収益を上げていくためのメカニズムの解明を目的としている。

主に、事例調査分析が中心となっており、そのために各社へのヒアリング調査を実施している。

## 2. 研究の進捗状況

研究課題について、主に自動認識業界における標準化と競争優位についてヒアリングを中心に進めてきた。これまで分かったことは、かつてのデファクト標準にみられた競争優位と今日一般化してきているフォーラム標準との間には明確な差が存在するという点である。その内容については、図書や論文、学会等で報告しているが、特に標準化から収益化への道筋をつけるためのビジネスモデルが大きく異なることが挙げられる。

その理由には、競争環境の変化、さらには国際ルールの制定が挙げられる。それらのうち、競争環境の変化については「業際化」の進展が、また国際ルールの制定については WTO/TBT 協定の存在に起因する。

今現在は、こうした新たなタイプの標準化プロセスが求められる中で技術を開発する企業がどのようなビジネスモデルを想定することが出来るのかについて、ヒアリング調査を重ねている段階である。

その結果を今年度前半にまとめ、本研究課題を仕上げていく予定である。

## 3. 現在までの達成度

上述したように、現在本研究は「おおむね順調に推移している」と認識している。そのため、本研究の当初の目的として掲げていた AIDC(自動認識技術)業界の調査が進んだことから、日本発の国際標準である QR コード、あるいは RFID に組み込まれた日本の技術などにおける開発動向に対する詳細な調査活動も実現するなど、当初予定していた以上の成果も出てきている。

## 4. 今後の研究の推進方策

今後は、本研究をとりまとめていくが、その中で「標準化の効果」について整理していきたいと考えている。特に、イノベーションと標準化の関係について本研究のデータから何らかの指摘ができるように持って行ければと考えている。

## 5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計 3 件)

- 1) 内田康郎、「オープンポリシーに基づく標準化の戦略 ～QR コード開発事例からの考察を中心に～」『日本貿易学会年報』(査読あり)、第 44 号、2007 年、244-245 ページ。
- 2) 内田康郎、「技術標準をめぐる競争と協調の戦略 ～標準形成プロセスの整理とそれぞれの有効性について～」『国際ビジ

ネスの潮流と課題』(査読なし)(財)貿易奨励会主催貿易研究会研究報告書、2007年、18-27ページ。

- 3) 内田康郎、「デジタル標準の追求と戦略的課題」『世界経済評論』Vol. 52、No. 8、世界経済研究協会(査読なし)、2008年22-32ページ。

[学会発表] (計5件)

- 1) 内田康郎「オープンポリシーに基づく標準化の戦略」日本貿易学会全国大会、2006年5月28日、明治大学。
- 2) 内田康郎「技術標準の戦略と課題」日本経営学会中部部会、2006年7月15日、富山県民会館
- 3) 内田康郎「自動認識技術における標準化の戦略 —バーコード・RFID・バイオメトリクスを中心に—」研究・技術計画学会全国大会、2006年10月22日、東北大学
- 4) 内田康郎「公的標準をめぐる企業間競争の課題」国際ビジネス研究会関東部会、2007年6月29日、早稲田大学。
- 5) 内田康郎「公的標準活用事例にみる戦略的意義について」国際ビジネス研究会全国大会、2008年10月26日、岡山大学

[図書] (計3件)

- 1) 内田康郎、「標準の類型化とオープンポリシーに基づく標準化の戦略」梶浦雅己編著『国際ビジネスと技術標準』所収、52-93ページ、文眞堂、2007年。
- 2) 2008年 『理念と戦略の経営学』学文社(共著)
- 3) 2008年 「コンセンサス標準を活用したビジネスモデル」新宅純二郎・江藤学編著『コンセンサス標準戦略』日本経済新聞出版社

[産業財産権]

○出願状況 (計 件)

○取得状況 (計 件)

[その他]